

当該価格で入札した理由書

商号又は名称

住 所

代表者氏名

(JV の場合は JV 名称を併記すること。)

【理由書記載内容】

- 1 対象工事の施工地付近における手持ち工事の状況
- 2 対象工事に関連する手持ち工事の状況
- 3 対象工事の施工地と事業所、資機材保管場所等との関連（地理的条件）
- 4 手持ち資材の状況
- 5 資材の購入先及び購入先との関係
- 6 手持ち機械・設備の状況
- 7 労務者の確保や配置の内容
- 8 過去に施工した公共工事名
- 9 その他、上記以外に低価格で入札できる理由
- 10 当該工事において安全で質の高い施工をするために、特に留意する事項
- 11 当該工事に対する受注意欲

作成者職・氏名

連絡先電話番号

調査様式第2号

工 事 費 内 訳 書

[illegible]

※積算の根拠となる見積りなどがあれば添付すること。

※諸経費（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）の詳細内訳も記載すること。

調査様式第 3 号

手 持 ち 工 事 の 状 況

工 事 名	発 注 者	工 期	請負金額	備 考
(対象工事現場付近)				
(対象工事関連)				

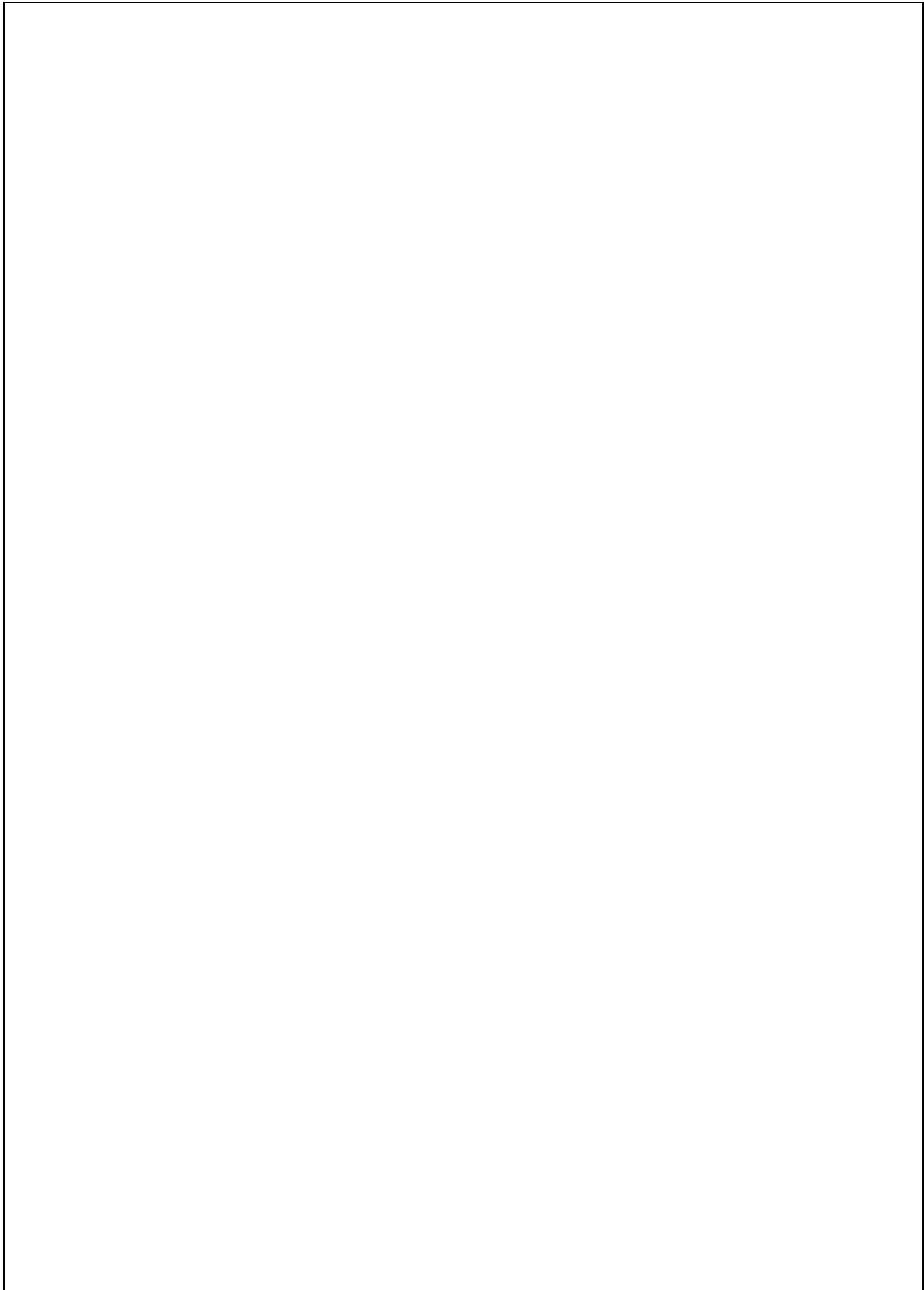
※備考欄には、工事ごとに施工場所、工事概要、配置技術者等を記載すること。

対象工事現場付近（半径 10km 程度）における手持ち工事を記載する場合は、工事名、施工場所を記載した図面（縮尺は任意）を添付すること。

対象工事関連の手持ち工事は、対象工事の同種又は同類の工事を記載すること。

調査様式第4号

対象工事の施工地と事業所、資機材保管場所等との関連



※ 地図（縮尺は任意）に対象工事の施工地と事業所、資機材保管場所等との関連が明確になるよう記入するとともに、所在地を明記すること。

手 持 ち 資 材 の 状 況

品 名	規格・型式	単位	手持ち数量	対象工事での 使用予定量	不足数量	不足数量の手当方法

※ 手持ち資材の状況については、対象工事で使用予定の資材を主に記入すること。

資 材 の 購 入 先 及 び 購 入 先 と の 関 係

品 名	規格・型式	単位	数 量	単 価	購入（予定）業者名	購入（予定）業者 所 在 地	購入（予定）業者と 入札者との関係

※ 入札者との関係には、協力会社、同族会社、資本提携等具体的に購入（予定）業者との関係を記入すること。

手 持 ち 機 械 ・ 設 備 の 状 況

機械等の名称	規格・型式・能力・年式	単位	数量	メーカー名	現在の利用状況

※ 対象工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入すること。

労 務 者 の 確 保 計 画

工 種	職 種	単 価	員 数	下請会社との関係（下請会社名等）
			()	

※ 員数には、自社労務者と下請労務者との合計を記入し、自社労務者がある場合には（ ）内に内書きすること。
下請会社との関係には、下請の会社名のほか、協力会社、同族会社、資本提携等具体的にその関係を記入すること。

工 種 別 労 務 者 配 置 計 画

工 種	種 別	配 置 予 定 人 数					計
		世話役	普通作業員 (特殊含)	配管工	電工	オペレーター	

過 去 に 施 工 し た 公 共 工 事 名 及 び 発 注 者

発 注 者	工 事 名	工 期	金 額 (円)	備 考

※過去 5 ヶ年程度の国、県、市町村等を含む公共工事全てを記載し、備考欄には、工事ごとに工事概要と工事成績を記載すること。
調査基準価格を下回って契約した工事（低入札案件）は、備考欄に◎印を記載すること。

項 目	申 告 内 容
過去 3 年間に於ける建設 業法違反の有無	
過去 3 年間に於ける入札 参加資格制限（指名停止） の有無 ※福島県以外の団体によ る措置も含む	
過去 3 年間に於ける不渡 りの有無に関する報告	
過去 3 年間に於ける賃金 不払の有無	
過去 3 年間に於ける下請 代金不払、支払遅延の有無	

※ 添付書類

- 1 直前 3 年の営業年度の貸借対照表及び損益計算書（財務諸表）
- 2 直前 3 年の各営業年度に於ける工事施工金額の分かる資料
- 3 福島県内に主たる営業所を有する者及び福島県外に主たる営業所を有する者で福島県内に支店・営業所を有する者は、法人（個人）県民税、事業税及び自動車税納税証明書
- 4 福島県外に主たる営業所を有する者で福島県内に支店・営業所を有さない者は、消費税及び地方消費税納税証明書